

# 令和6年度 事業報告書



令和6年5月26日 高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバル（香南市）



日本赤十字社 高知県支部  
Japanese Red Cross Society

## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

## わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。

## 令和6年度 事業報告書(目次)

<b>1. 災害救護</b>	頁
(1) 救護活動	1
(2) 救護員育成	2
(3) 救護員の登録・編成状況	5
(4) 救護資機材の整備状況	6
(5) 救援物資の整備状況	7
(6) 防災・減災の取組み	8
(7) 国内災害義援金・海外救援金の受付状況	14
(8) 臨時救護	15
<b>2. 社会活動(講習普及事業)</b>	
(1) 各講習の活動概要	16
(2) 赤十字救急法等指導員養成講習	16
【別表】講習会の開催状況の推移	17
<b>3. 青少年赤十字事業</b>	
(1) 活動概要	18
(2) 加盟校概要	20
高知県青少年赤十字加盟校一覧マップ	21
(3) 指導者対象の協議会、研修	22
<b>4. 国際活動</b>	
(1) 国際救援・開発協力事業	23
(2) NHK海外たすけあい	23
<b>5. 赤十字奉仕団、ボランティア活動</b>	
(1) 地域奉仕団	24
(2) 特殊奉仕団	27
(3) 青年奉仕団	27
<b>6. 赤十字思想の普及・広報活動</b>	
(1) 赤十字月間、イベント	29
(2) DM、広報誌等	29
(3) インターネットメディアやマスメディアの活用	29
<b>7. 会員、活動資金</b>	
(1) 会員概要	30
(2) 活動資金募集状況	30
(3) 活動資金目標額設定会議	30
(4) 日本赤十字社有功章等伝達式及び支部長表彰式	31
(5) 物品の寄贈	32
<b>8. 評議員、有功会等</b>	
(1) 評議員会	33
(2) アドバイザー会議	33
(3) 高知県赤十字有功会	33
<b>9. 旧社屋及びプレハブの解体</b>	34
<b>10. 決算概要</b>	35
<b>11. 資料</b>	
令和6年度 地区分別活動資金実績【地区分区分別】	36

# 令和6年度 事業報告

## 1 災害救護

### (1) 救護活動

令和6年1月に発生した「令和6年能登半島地震」については、令和6年5月3日で日赤の救護活動は終了したが、被災者の支援活動は奉仕団を中心に継続している。

令和6年1月から3月にかけて本県からも石川県内に救護班、コーディネートチーム、こころのケア要員など、9班（回）、延べ32名を派遣した。

主な活動内容としては、救護班は、延べ25カ所の避難所の巡回診療を行い、2班で実動7日間、新型コロナウイルス感染者をはじめ高血圧やストレス症状などの患者延べ54名に対応した。

コーディネートチームは2チーム、それぞれ石川県庁と珠洲市役所の保健医療福祉調整本部で活動した。合計で実動7日間、行政、DMA T、医師会、保健師等と協働し、避難所や避難者の情報から日赤救護班及びこころのケア班の活動を調整するなど被災地の救護活動を支援した。

こころのケア要員は、四国合同チーム、中四国合同チームのメンバーとして参加、四国チームは志賀町で現地の保健師と協力しながら避難所を巡回し、5日間で延べ10か所、61人にこころのケアを実施した。また、中四国チームは、輪島市役所、輪島病院に設置されたリフレッシュルームで5日間活動、主に被災者支援に従事する方が延べ58名訪問され、ハンドケア、足湯、リラクゼーションを行った。

また、冬季の災害であったことからタイヤチェーン、防寒手袋、雪かき用シャベルなどが必要となったことから、日常からの装備、資機材の整備の重要性をあらためて認識した。なお、車両については、今年度、ご寄付により更新できたことで救護活動の機能性、安全性が高まった。

今回の能登半島地震での活動を通じ、救護活動にかかる救護班等の派遣調整について、第5ブロック各県支部及び県内赤十字施設の連携が重要であったことから、今回の経験を支部主催の救護訓練、研修に反映するとともに、支部災害対策本部機能を高めるべく研修会を開催することとした。

今年度の救護体制としては、日本赤十字社高知県支部に救護班6班、高知赤十字病院にDMA T（災害派遣医療チーム）7チームを常設し、適切かつ迅速な災害救護活動の実施に向けた取り組みを行った。

県内での災害対応として、高知県支部からの救護班派遣や、高知県支部に災害対策本部を設置する事例はなかったが、6月に発生した田野町での突風により被害を受けられた方、2世帯5名の方に、毛布3枚、緊急セット1個、バスタオル5枚をお届けし、住家火災によって被災された13世帯28名の方に、毛布24枚、緊急セット12個、バスタオル23枚の災害救援物資をお届けした。また、火災で亡くなられた方のご遺族に弔慰金4件 50,000円をお届けした。

## (2) 救護員育成

### ア 救護・受援体制の確立

災害救護は日本赤十字社の最も重要な事業であり、南海トラフ地震に向けて救護班活動の充実、強化を目標に、管下施設間及び中国四国ブロック、行政等との研修・訓練に取り組んだ。

### イ 主な災害救護訓練、研修会

#### (ア) 本社関係

##### ① こころのケア指導者養成研修会

10月9日（水）～10日（木）、12月4日（水）～5日（木）に被災者等に対する「こころのケア」に関する活動を充実させ、普及指導体制を強化するために開催されたこころのケア指導者の養成研修会に、高知赤十字病院から講師1名が参加した。

##### ② 日赤災害医療コーディネート研修会

災害時に効果的・効率的に関係機関との連携及び救護班の活動調整等ができるように、日赤災害医療コーディネートチームの活動能力向上及び活動に対する考え方の共通認識を図ることを目的に開催された第1回研修会【7月8日（土）～9日（日）】に受講者1名、第2回研修会【11月23日（土）～24日（日）】に受講者1名、講師1名が高知赤十字病院から参加した。

##### ③ 全国赤十字救護班研修

救護班要員の知識及び技術の更なる向上及び新たな同要員の育成を目的として開催され、高知赤十字病院及び高知県支部から救護班1班（医師1名、看護師長1名、看護師1名、主事2名）が受講し、運営スタッフとして医師2名、看護師長1名、主事2名が参加した。

なお、本研修は研修機会の更なる拡大のため、実施主体をブロックへ移行されることとなっており、本年度は移行期間として本社との共催にて開催された。

#### （イ）第5ブロック（中四国）関係

中国四国ブロック各県支部合同災害救護訓練【11月8日（金）～9日（土）】に各県支部から救護班が山口県に参集し、地震発生を想定した日赤山口県支部災害対策本部の初動時における対処及び各県支部の支援にかかる具体的な行動の検証を行った。当県支部からプレーヤー2名、コントローラー2名が参加した。

#### （ウ）高知県支部主催関係

##### ① 日本赤十字社高知県支部災害医療救護訓練

11月3日（土）～4日（日）、これまでの救護活動や「令和6年能登半島地震」での救護班等の経験を踏まえ、災害救護業務を迅速かつ適

切に行うため、救護員として必要な知識・技術を習得し、救護活動の円滑な推進を図ることを目的に、高知赤十字病院及び高知県地域職業訓練センターにおいて訓練を実施した。座学や実動訓練等に、高知赤十字病院及び高知県赤十字血液センターの医師・看護師等の救護員をはじめ、講師・スタッフ、防災奉仕団等約120名が参加した。

また、高知市赤十字奉仕団員による炊き出し訓練も実施され、参加者は非常食を体験した。



### ② 救護主事対象赤十字災害救護研修会

6月12日（水）、12月10日（火）、救護主事の役割を理解し、十分な知識と技術を持った救護主事の養成を図ることを目的に2回開催した。

1回目は、車両操作の一環としてテールゲートリフター（トラック荷台ゲートの取り扱い）を行うための特別教育を行い、高知赤十字病院から主事8名、高知県赤十字血液センターから主事2名が参加した。

2回目は、情報の収集、伝達実習、ドラッシャテントの設営研修を行い、高知赤十字病院から主事7名及び薬剤師1名、高知県赤十字血液センターから主事2名が参加した。

### ③ 支部災害対策本部要員研修会

11月18日（月）～19日（火）、支部災害対策本部の運営に必要な知識・技術の習得及び向上を図ることを目的に、本社が作成した研修プログラムを用いて全国展開に先駆けて本社との共催により開催した。

本県支部から4名、高知県赤十字血液センターから2名、香川県支部から1名の職員が受講し、本社及び他県支部から7名が講師として参加、また、県内各施設から医師、看護師をはじめ8名がオブザーバーとして参加した。

## （エ）国・県・市町村主催関係

### ① 四万十川総合水防演習

5月16日（日）、四万十市不破地先（四万十川左岸河川敷）で開催され、高知赤十字病院から救護班5名（医師1名、看護師長1名、看護師1名、主事2名）が参加し、台風による四万十川の急激な水位上昇により被害が発生したという想定のもと、他機関（陸上自衛隊、高知県警察）が救助した傷病者を救護所で受け入れる訓練を実施した。

なお、併設されたイベント会場では、来場者のうち約 50 名に対して四万十市赤十字奉仕団 2 名が子ども救護服の着用体験及び救急車の展示、安全赤十字奉仕団 3 名が身近なものを使った応急手当の講習を実施した。

#### ② 高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバル

5月 26 日（日）、高知県職業能力開発短期大学校（メイン会場）で開催され、高知赤十字病院から救護班 6 名（医師 1 名、看護師長 1 名、看護師 1 名、薬剤師 1 名、主事 2 名）が参加し、大規模地震災害が発生したことを想定のもと、他県支部（鳥取県）から救護班の受け入れを行い、d ERU（仮設診療所）を開設し、高知医療センターDMAT、あき総合病院 DMAT、近森病院 DMAT、香美郡医師会及び土佐長岡郡医師会の医師らとともに多数傷病者の受け入れ訓練を実施した。

なお、併設されたフェスティバル会場では、中央東ブロックの赤十字奉仕団 30 名により炊き出し訓練が行われ、約 400 食の非常食を来場者に体験していただいた。さらに、安全赤十字奉仕団 4 名が身近なものを使った応急手当の講習を 74 名の方に実施した。

#### ③ 高知市総合防災訓練

11月 16 日（土）、高知市城西公園で開催され、高知赤十字病院及び当県支部 から DMAT4 名（看護師長 1 名、看護師 1 名、業務調整員 2 名）が参加し、大規模地震災害の発生によりいづみの病院に多数傷病者が来院しているという想定のもと、傷病者を受け入れのための病院支援の訓練を実施した。

なお、併設されたイベント会場では、来場者のうち約 50 名に対して、高知市赤十字奉仕団 4 名が子ども救護服の着用体験及び救急車の展示、安全赤十字奉仕団 1 名が身近なものを使った応急手当の講習を実施した。

#### ④ 高知県保健医療調整本部震災対策訓練

令和 7 年 2 月 6 日（木）、南海トラフ地震発生時における保健医療調整本部の災害対応能力の向上を図り、関係機関との連携や運営方法の検証等を目的に訓練が開催され、当支部から実施者及び評価者として 3 名が参加した。保健・医療・福祉部門の連携した活動が重要視された訓練内容となっており、行政はじめ災害医療コーディネーター、DMAT などとの連携を確認した。

### (3) 救護員の登録・編成状況

#### ア 赤十字常備救護班

班名	構成組織	班員 (人)	職種別班員数(人)				
			医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事
第1班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第2班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第3班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第4班	血液センター・病院	7	1	1	2	1	2
第5班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
第6班	赤十字病院	7	1	1	2	1	2
合 計		42	6	6	12	6	12

※その他医療救護に関する指導を目的に特命救護班1名を任命し、医療救護体制の充実を図っています。

#### イ 災害派遣医療チーム（D M A T）

チーム数：7チーム（医師1名、看護師2名、業務調整員1名を1チームとして算出）

構成組織	班員(人)	職種別班員数(人)		
		医師	看護師	業務調整員
赤十字病院	31	8	14（うち看護師長4）	9

※その他D M A T隊員（業務調整員）在籍状況：支部 2名、血液センター 1名

#### (4) 救護資機材の整備状況

##### ア 支部の主要救護装備

品目	数量	備考
車両	8 台	救急車 1 台、 dERU (国内型緊急対応ユニット) 1 台、 災害救援車 (赤色灯あり) 1 台 (R6 更新) 災害救援車 (赤色灯なし) 5 台 (R6、1 台更新)
通信環境	災害用電話	4 台
	業務用無線 150 メガ帯	18 局
	業務用無線 400 メガ帯	22 局
	アマチュア 無線局	1 局
テント	18 張	エアーテント 3 張、ドラッシャテント 1 張、その他 14 張
発電機・投光器	9 台	発電機 7 台、発電機付大型投光器 2 台
担架	23 本	担架 23 本、その他担架台 10 台
簡易ベッド	26 台	
浄水器	1 組	
自動ラップ式トイレ	12 台	
A E D (自動体外式除細動器)	4 台	

##### イ 救護班活動用食料

品目	数量	備考
災害用備蓄食料 (レスキューフーズ)	212 食	①シチュー : 56 食 ②中華丼 : 24 食 ④カレーライス : 60 食 ⑤和風ハンバーグ : 12 食 ③牛丼 : 60 食
非常食	200 食	アルファ米 (五目ご飯) : 200 食
保存水	660L	①500mL×24 本×32 箱 ②2L×6 本×23 箱

## (5) 救援物資の整備状況

### ア 救援物資の備蓄状況（令和7年3月末現在）

品目	在庫数	品目	在庫数
毛布	2,226 枚	タオルケット	800 枚
緊急セット	1,095 個	バスタオル	540 枚
安眠セット	542 個		



【 毛布 】



【 緊急セット 】

## (6) 防災・減災の取組み

### ア 「赤十字防災セミナー」の開催

災害に備え、自助、共助のための知識を身につけてもらうことを目的に開催しており、日赤地域奉仕団や青少年赤十字加盟校などからの依頼により赤十字奉仕団員、社協職員、地域住民、学生を対象に「赤十字防災セミナー」を開催した。

#### 【災害への備え】 (10回)

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R 6. 6.16	仁淀川町	合同会社防災ネットワークによどがわ	85
R 6. 6.19	高知市	高知商業高校	37
R 6. 6.19	馬路村	馬路村赤十字奉仕団	14
R 6. 7.17	本山町	本山町民生委員児童委員協議会	24
R 6. 7.21	土佐市	社会福祉法人士佐市社会福祉協議会	40
R 6. 7.24	高知市	日赤高知市地区下知分区	23
R 6. 10.28	仁淀川町	仁淀川町民生委員児童委員協議会	30
R 6. 12. 1	土佐市	土佐市あつたかふれあいセンターとさ	56
R 7. 2.13	いの町	日赤いの町分区	30
R 7. 2.27	佐川町	佐川町長寿大学	20

#### 【災害図上訓練】 (D I G) (1回)

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R 6. 9. 3	安芸市	安芸市社会福祉協議会	5

#### 【災害エスノグラフィー】 (1回)

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R 7. 3.17	高知市	高知県民生委員児童委員協議会連合会	12

#### イ 防災教育事業指導者の養成

地域での防災意識の啓発に寄与するため、「赤十字防災セミナー」を指導できる指導者の養成研修を開催し、社協職員、地域奉仕団、防災奉仕団、赤十字職員が参加、5名の新任指導者が誕生し、本県における指導者は合計で29名となった。

#### 防災教育事業指導者養成研修（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)	本県指導者数（人）	
				職員	ボランティア
R 6. 9. 21-22	高知市	日本赤十字社 高知県支部	5	10	19

#### ウ 「青少年赤十字防災教育」の推進

自然災害に対して自助、共助の力を身につけることを目的に本社が作成した小・中・高校生向け防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」と幼稚園・保育所向け教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を活用し、学校等からの依頼によりグループワーク等を開催している。

利和6年度は幼稚園からの依頼により「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を実施した。

#### 【ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！】（1回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R 6. 5. 30	香南市	香南市立野市東幼稚園	25

## エ 「避難所運営ゲーム（HUG）」の開催

避難所で起こる出来事や様々な事情を抱えた避難者への対応などをゲーム形式で考える「避難所運営ゲーム（HUG）」を学校などからの依頼に応じて開催した。

### 【避難所運営ゲーム（HUG）】（17回）

開催日	開催地域	主催者	参加者数 (人)
R 6. 5. 9	土佐町	土佐町立土佐町中学校	26
R 6. 6. 19	高知市	高知商業高等学校	37
R 6. 7. 23	土佐町	土佐町食生活改善推進協議会	37
R 6. 7. 31	土佐清水市	土佐清水市役所人権問題研究会	23
R 6. 9. 26	須崎市	須崎市立上分中学校	71
R 6. 9. 27	大川村	大川村立大川小中学校	8
R 6. 10. 21	高知市	高知市立青柳中学校	76
R 6. 10. 23	芸西村	芸西村立芸西小学校	42
R 6. 11. 5	黒潮町	黒潮町立佐賀中学校	49
R 6. 11. 7	土佐町	土佐町立土佐町中学校	24
R 6. 11. 27	香南市	香南市立香我美小学校	58
R 7. 1. 10	高知市	高知市立鴨田小学校	119
R 7. 1. 17	香南市	香南市立野市中学校	111
R 7. 1. 18	香南市	香南市立野市中学校	74
R 7. 1. 31	高知市	高知市立一宮中学校	155
R 7. 2. 5	高知市	高知市立一宮中学校	165
R 7. 2. 17	高知市	高知市立青柳中学校	83

## 才 高知県内の市町村・社協との協定の締結

平成27年度から、高知県内の市町村・社協と包括的な連携・協力のもと人道的な活動を展開し、市民の安心・安全及び福祉の向上に資するため業務提携に関する協定を締結している。

日赤の知識と技術を取得した人材を地域で養成すること等により、当該人材の地域活動を通じた地域の防災・減災対策の普及や、奉仕団等との連携による迅速な災害救護活動の遂行に向けた積極的な取り組み、救急法等の一次救命処置の実践等により、地域住民の安心・安全のための活動が進むことが期待されている。

(ア) 協定締結先一覧

協定締結先	締結日
室戸市・室戸市社会福祉協議会	H30. 10. 25
北川村・北川村社会福祉協議会	H30. 10. 31
馬路村・馬路村社会福祉協議会	H30. 10. 31
安芸市社会福祉協議会	H27. 11. 24
香南市・香南市社会福祉協議会	H31. 4. 4
南国市・南国市社会福祉協議会	H28. 5. 11
土佐市・土佐市社会福祉協議会	R 2. 10. 2
仁淀川町・仁淀川町社会福祉協議会	H30. 10. 23
中土佐町・中土佐町社会福祉協議会	H29. 2. 17
黒潮町・黒潮町社会福祉協議会	H31. 4. 26
四万十市・四万十市社会福祉協議会	H29. 5. 30
土佐清水市・土佐清水市社会福祉協議会	H29. 8. 8



## (イ) 協定締結団体等との取り組み

協定締結地域における市町村及び社協職員、地域住民を対象とした防災や災害時の対応に関する研修のほか、四万十市では救急法救急員養成講習を開催した。

また、「N P O 法人日本防災士会高知」からの依頼により応急手当の講習会を開催した。

### ○講習等の開催状況

	団体名称（市町村・社協）		開催日	内 容
1	安芸市社会福祉協議会		R 6. 9. 3	赤十字防災セミナー (DIG) 社協職員、高知県立大学生 5名
2	中土佐町 社会福祉 協議会	中土佐町 社会福祉 協議会	R 6. 10. 23	災害対応の講習 (クロノロ研修、応急手当、搬送) 役場職員 28名
			R 6. 10. 27	中土佐防災フェスタ (赤十字ブースで応急手当体験・子ども救護服着用及び体験車両展示) 地域住民 55名
3	四万十市 社会福祉 協議会	四万十市 社会福祉 協議会	R 6. 9. 21 ～22	防災教育事業指導者養成研修 社協職員 1名
			R 6. 11. 16	赤十字救急法基礎講習 社協職員、地域住民 13名
			R 6. 11. 17 23	赤十字救急法救急員養成講習 社協職員、地域住民 13名（基礎講習修了者）
4	馬路村 社会福祉 協議会	馬路村 社会福祉 協議会	R 6. 6. 19	防災セミナー（災害への備え） 奉仕団員、社協職員 14名
5	土佐市	土佐市 社会福祉 協議会	R 6. 10. 17	赤十字救急法基礎講習 社協職員、地域住民 9名
6	NPO 日本防災士会高知		R 6. 6. 8	応急手当講習会 防災士 7名

## ○救急員・救急法指導員等養成実績

社協等との協定締結後に養成した資格及び地域については以下のとおり

養成内容（資格別）	地 域
赤十字救急法基礎講習修了者	馬路村、安芸市、土佐市、中土佐町、四万十市、土佐清水市
赤十字救急法救急員	馬路村、安芸市、中土佐町、四万十市、土佐清水市
赤十字救急法指導員	馬路村、安芸市、四万十市
赤十字幼児安全法支援員	中土佐町

- ・赤十字救急法基礎講習

市民が行う一次救命処置（心肺蘇生やAEDの使い方、気道異物除去）と手当の基本（観察、体位）について学びます。

- ・赤十字救急法救急員養成講習

一次救命処置以外の応急手当（急病の手当、止血、包帯、骨折の手当、搬送）について学びます。

- ・赤十字救急法指導員養成講習

赤十字救急法基礎講習、赤十字救急法救急員養成講習を指導する指導員資格取得のための講習です。

- ・赤十字幼児安全法支援員養成講習

子どもを大切に育てるために、乳幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術を習得できます。

## (7) 国内災害義援金・海外救援金の受付状況

国内災害義援金や海外救援金の発生の都度、支部ホームページへの掲載や各地区・分区に通知し、広く県民に広報するとともに協力を受け付けている。

### ア 【国内災害義援金】

No.	名称	令和6年度 支部受付分		支部受付累計		受付期間
		件数	金額	累計 件数	累計金額	
1	令和6年能登半島地震災害義援金	112	53,130,189円	439	157,409,330円	R 6. 1. 4～ R 7. 12. 26
2	令和6年7月25日からの大雨災害義援金	0	0円	0	0円	R 6. 8. 1～ R 7. 3. 31 終了
3	令和6年9月能登半島大雨災害義援金	26	1,693,979円	26	1,693,979円	R 6. 9. 25～ R 7. 12. 26
4	令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	0	0円	0	0円	R 6. 12. 18～ R 7. 1. 31 終了
5	令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	3	410,000円	3	410,000円	R 7. 3. 6～ R 7. 6. 30

能登半島へ多くのご支援が寄せられた。



イ 【海外救援金】

No.	名称	令和6年度 支部受付分		支部受付累計		受付期間
		件数	金額	累計 件数	累計金額	
1	中東 人道危機救援金	0 件	0 円	3 件	510,200 円	H27. 4. 1～ R 8. 3. 31
2	バングラデシュ 南部避難民救援金	0 件	0 円	2 件	510,000 円	H29. 9. 22～ R 8. 3. 31
3	アフガニスタン 人道危機救援金	0 件	0 円	1 件	3,000 円	R 3. 9. 22～ R 7. 3. 31 終了
4	ウクライナ 人道危機救援金	0 件	0 円	78 件	2,150,421 円	R 4. 3. 2～ R 8. 3. 31
5	イスラエル・ガザ 人道危機救援金	2 件	133,000 円	4 件	138,954 円	R 5. 10. 17～ R 7. 3. 31 終了
6	2024 年台湾東部沖 地震救援金	27 件	527,957 円	27 件	527,957 円	R 6. 4. 5～ R 6. 6. 28 終了
7	レバノン 人道危機救援金	0 件	0 円	0 件	0 円	R 6. 10. 15～ R 7. 3. 31 終了

(8) 臨時救護

県民の皆さまが多数参加される各種行事、護国神社での祭事等のイベントに医師、看護師、安全赤十字奉仕団等を派遣し、救護活動を行った。

令和6年度の実績は次のとおり。

日 時	内 容
4/ 2 (日)	護国神社春季大祭
8/10 (土)～ 8/11 (日)	よさこい祭り
10/21 (土)	フィリピン戦域戦没者 慰靈祭
11/ 2 (木)	護国神社秋季大祭
2/16 (日)	高知龍馬マラソン 2025

○常設医薬品の設置

航空機や空港施設を利用される方などの「もしもに備えて」高知龍馬空港の総合案内に救急箱を設置している。

## 2 社会活動(講習普及事業)

### (1) 各講習の活動概要

災害や日々の事故に備え、安全で健康な生活を営む方法や尊い人命を救助する知識と技術を普及するため、救急法・水上安全法・雪上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法(養成及び短期講習)や防災講習会を県内各地で実施した。

講習回数は、コロナ禍前の令和元年度を越えるまで回復しているが、受講者数は、一度に受講する人数の関係から元年度までは至っていないが、徐々に回復してきている。

なお、本年度においても感染予防の観点から赤十字救急法基礎講習については、人工呼吸の実技は指導員のデモンストレーションを含めて実施しないことは継続している。

また、高知市教育委員会からの委託事業として、高知市内の全小学5年生を対象に心肺蘇生講習を実施した。

(令和元年度以降の講習等回数及び受講者数は次頁別表のとおり)

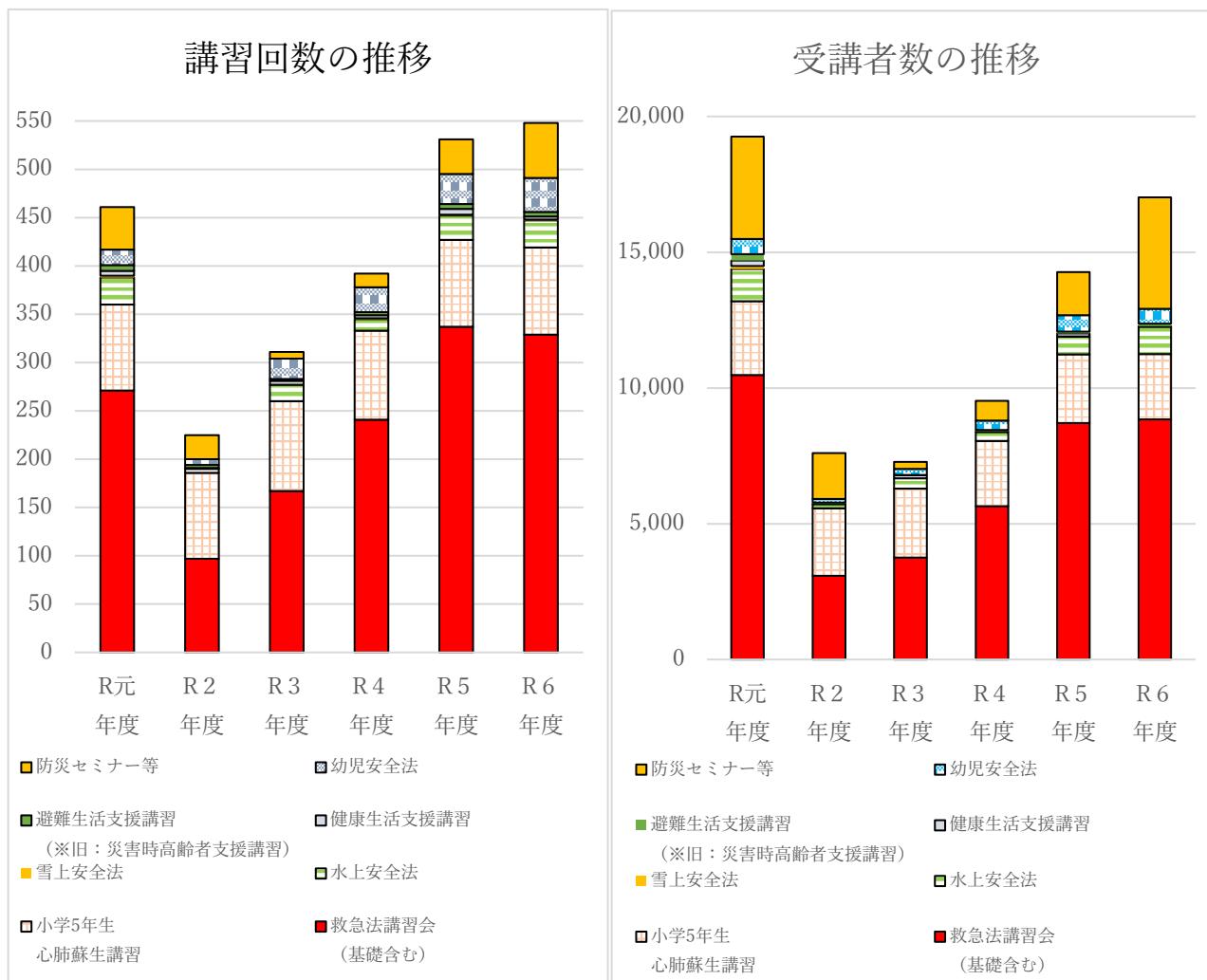
### (2) 赤十字救急法等指導員養成講習

赤十字救急法の指導員養成講習を本年度も開催し、新たに13名の指導員が誕生した。

今年度は赤十字職員、警察からの受講希望があったほか、一般からの受講希望にも対応しており、今後、地域での救急法普及について更なる促進が期待される。

【別表】  
講習会の開催状況の推移

(講習等回数)						(受講者数)						
R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	講習名	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
271	97	167	241	337	329	救急法講習会 (基礎含む)	10,476	3,079	3,751	5,648	8,709	8,844
89	89	93	92	90	90	小学5年生 心肺蘇生講習	2,724	2,483	2,544	2,402	2,530	2,409
28	4	17	12	25	28	水上安全法	1,180	163	383	330	652	1,002
2	0	0	1	1	1	雪上安全法	112	0	0	4	3	4
5	1	4	3	6	3	健康生活支援講習	206	5	111	27	114	14
6	3	2	3	5	5	避難生活支援講習 (※災害時高齢者支援 講習から名称変更)	232	52	6	38	72	96
16	6	21	26	31	35	幼児安全法	563	130	227	349	605	547
44	25	7	14	36	57	防災セミナー等	3,761	1,688	259	731	1,581	4,108
461	225	311	392	531	548	合計	19,254	7,600	7,281	9,529	14,266	17,024



### 3 青少年赤十字事業

青少年が「気づき」「考え」「実行する」力を身につけ、他者へのやさしさを行動に移すことができるよう、先生方と協力しながら様々な活動を行った。

#### (1) 活動概要

##### ア 県全体の活動

日 程	事業名	内 容
4/13 (土)	赤十字運動 月間啓発パ レード	県内 JRC 加盟高等学校のうち 3 校から、JRC メンバー 21 名・指導者 2 名が参加 赤十字の活動を PR するために帶屋町でパレード、中央公園にて街頭募金活動を行った。
6/ 1 (土)	高知県青 少年赤十字高 等学校連合 会総会	県内 JRC 加盟高等学校 3 校（土佐高校・土佐女子高校・高知北高校）から 16 名、未加盟校（須崎総合高校）から 4 名の計 20 名と指導者 3 名が参加。 開催内容は以下のとおり。 ○令和 6 年度役員選出 ○各学校における取組み紹介・意見交換 ○グループワーク「JRC メンバー同士がまつとつながつ ていく為に」 ○協議「今年度、JRC 加盟校が一緒にできる活動」
8/ 2 (金) ～ 8/ 4 (日)	高知県青 少年赤十字リ ーダーシッ プ・トレー ニングセン ター	国立室戸青少年自然の家で開催。県内 JRC 加盟校から小学生 9 名、中学生 12 名、高校生 16 名、未加盟校から小学生 6 名が参加。指導者、スタッフは 16 名が参加。 楽しい雰囲気の中、アイスブレーキングや貿易ゲーム、フィールドワークなどを実施し、「気づき、考え、実行する」という主体性を身につけられるよう取り組んだ。
12/ 1 (日)	高知県青 少年赤十字研 究大会	県内 JRC 加盟校 6 校（土佐中高・土佐女子中高・高知高・高知北高・高岡高・一宮東小）から合計 22 名、県教委 1 名、指導者 10 名、奉仕団員等 19 名が参加。各校の活動発表や講演を通して、高知県内の学校間の交流や青少年赤十字への理解を深めた。 内容は以下のとおり。 ○土佐中高 「2024 年度の取り組み」 ○高知北高 「北高校昼間部生徒会の地域と連携した防災の取り組み」 ○高 知 高 「高知高校としての防災の取り組み」 ○講 演 「自然災害に備える」 講師：高知地方気象台 松尾咲希 氏
12/ 1 (日)	NHK 海外た すけあい街 頭募金活動	県内 JRC 加盟校 6 校（土佐中高・土佐女子中高・高知北高・高岡高・清和女子高・一宮東小）から JRC メンバー 20 名、指導者 8 名のほか、奉仕団員等 19 名が参加。世界各地で多発する自然災害や武力紛争等による犠牲者の緊急支援事業等を実施するための街頭募金を帶屋町などで実施した。 募金額：58,206 円



赤十字運動月間啓発パレード  
(4月13日)



リーダーシップ・トレーニング・センター  
(8月2日～4日)



NHK 海外たすけあい街頭募金  
(12月1日)



高知県青少年赤十字研究大会  
(12月1日)

#### イ 本社主催事業への参加

日 程	事業名	内 容
3/22 (土) ～ 3/26 (水)	令和6年度 青少年赤十 字スタディ ー・センター	<p>全国各都道府県支部管内における高等学校青少年赤十字活動の中心となるリーダーの養成を目的に、山梨県の東照館で開催。</p> <p>赤十字と青少年赤十字についての学習や国際理解、新たな青少年赤十字活動の計画づくりなどのプログラムに取り組む。</p> <p>土佐女子高等学校から1名参加。</p>

## (2) 加盟校概要

ア 青少年赤十字への加盟状況 (単位:校) ※ 加盟校一覧マップ次頁

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高等学校	20	21	22	26	25
中学校	27	26	28	28	34
小学校	47	59	57	55	52
幼・保	5	7	7	12	12
特別支援学校	11	11	13	12	13
義務教育学校	-	-	-	3	4
合 計	110	124	127	136	140

イ 各校の活動(抜粋)

JRC加盟校には支部職員や安全赤十字奉仕団指導員を講師として派遣し、感染対策に留意しつつ様々な活動が行われた。

救急法	心肺蘇生やAEDの使い方、応急手当等を学ぶ講習を実技・座学を交えて実施した。
水上安全法講習	水の事故からいのちを守る対処法などについて監視や着衣泳の実技講習を実施した。
防災学習	過去の大規模災害における日本赤十字社の救護活動等について伝えるとともに、南海トラフ地震等の災害に備える知識を身につける座学を実施。また、HUG(避難所運営ゲーム)を高知県内の8校で行った。
平和学習	国際人道法普及などを目的として、世界の紛争地域の子どもたちが少年兵や地雷被害などで苦しんでいる現状への理解を深める講習を実施した。

ウ 青少年赤十字加盟校で行った各種講習会等 (単位:回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
救急法	55	74	94	133	131
水上安全法	3	9	4	16	17
雪上安全法	0	0	0	0	0
幼児安全法	0	3	4	12	10
防災学習	13	8	6	15	30
平和学習	4	1	3	3	3
新型コロナウイルスについての学習	-	2	1	0	0
登録式など	0	0	3	0	2
合 計	79	97	115	179	193

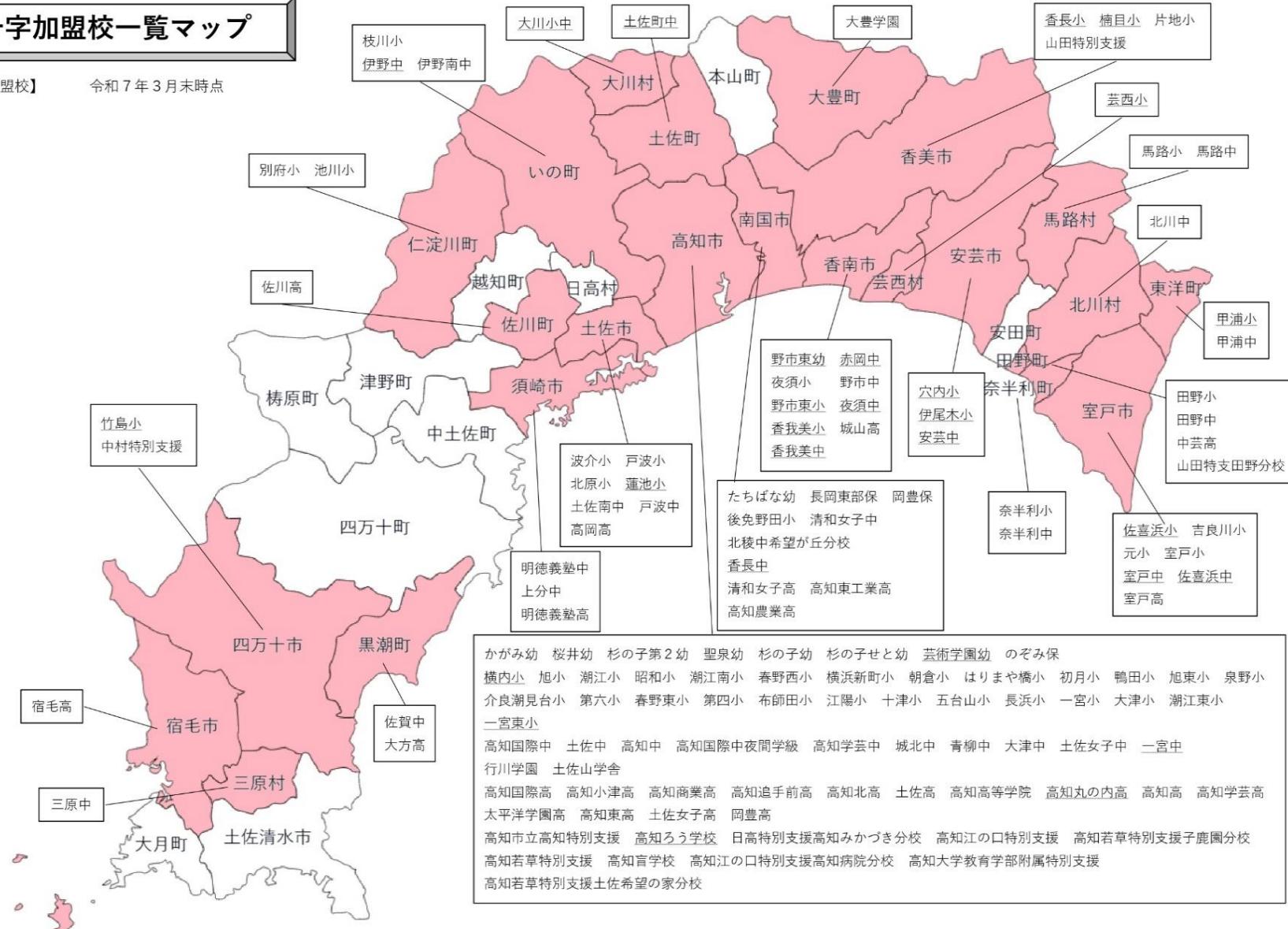
## 高知県青少年赤十字加盟校一覧マップ

【下線学校は今年度新規加盟校】

令和7年3月末時点



加盟校数	
高等学校	25
中学校	34
小学校	52
義務教育学校	4
幼・保	12
特別支援	13
合計	140



### (3) 指導者対象の協議会、研修

#### ○ 高知県青少年赤十字指導者協議会および高知県青少年赤十字賛助奉仕団活動

日 程	講習会・研修会名	内 容
5/31 (金) ～ 6/ 2 (日)	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	本社主催。青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの指導者を養成することと、現在、青少年赤十字で取り組んでいるプログラムについて説明し、一層の普及を図ることを目的として開催。令和6年度は土佐高校から指導者1名参加。
7/ 2 (火) 14:00～15:00	高知県青少年赤十字賛助奉仕団総会	高知県青少年赤十字賛助奉仕団等5名が出席し令和5年度の事業報告、令和6年度の事業予定や取り組みについて協議した。
7/ 2 (火) 15:30～16:30	高知県青少年赤十字指導者協議会	高知県青少年赤十字指導者8名と賛助奉仕団2名が参加し、以下の協議を行った。 (総会) ・役員改選 ・令和5年度青少年赤十字活動実績報告 ・令和6年度青少年赤十字事業計画
7/11 (木) 7/12 (金)	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	本社主催。各都道府県の賛助奉仕団委員長が一堂に会し、指導者協議会との連携や赤十字思想の普及と防災教育の充実などについて意見を交換した。 本県からは委員長が参加。
7/12 (金)	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	本社主催。各都道府県の指導者協議会長が一堂に会し青少年赤十字活動の普及等について意見交換を行った。 本県からは指導者協議会会長が出席した。
10/24 (木) 10/25 (金)	中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	鳥取県が担当で集合型により開催。中国・四国ブロック各県における活動や課題について協議を行い、交流を深めた。本県から委員長、職員1名が参加。
11/28 (木) 11/29 (金)	第5ブロック各県青少年赤十字指導者協議会長ならびに事務担当者会議	鳥取県が担当で集合型により開催。第5ブロック(中国・四国ブロック)における青少年赤十字の普及と充実強化を図るため、各県から提出された青少年赤十字に関する議題について意見交換が行われた。 本県は指導者協議会会長と事務担当者が参加した。

## 4 国際活動

### (1) 国際救援・開発協力事業

中国・四国9県の赤十字支部の国際救援活動として、「アジア・大洋州給水・衛生キット事業」に700万円の資金援助を行い高知県支部から541,958円を拠出した。



キット：浄水ユニット、タンク、浄水剤、水質検査キット、簡易トイレ設置用資材、衛生教育用資材など

### (2) NHK海外たすけあい

世界各地で多発する大規模災害や紛争に伴う緊急救援や開発途上国、災害常襲地への開発協力などを実施するため、12月にNHKの協力のもと「第42回海外たすけあい寄付金募集」キャンペーンを行った。

#### ○ 募集実績額

	取扱件数	実績額
高知県支部実績分	660 件	2,890,231 円
全国受付分 (高知県支部を含む)	78,462 件	725,941,418 円

## 5 赤十字奉仕団、ボランティア活動

奉仕団結成状況（令和7年3月末時点）

種別	団数	団員数
地域奉仕団	31	3,315名
特殊奉仕団	11	268名
青年奉仕団	2	13名
合計	44	3,596名



### （1）地域奉仕団

#### ア 活動資金募集

5月の赤十字月間に限らず、各市町村の状況に応じて時期を変えて奉仕団員が地域内の家庭や企業等を訪問するなど、赤十字活動への理解と赤十字の活動資金の増強に向けて取り組んだ。

#### イ 令和6年度 奉仕団活動重点項目

以下の重点項目を掲げ取り組んだ。

- ①赤十字の見える化を図る
- ②地域住民を対象とした奉仕団主催の活動を積極的に実施する
- ③JRC（青少年赤十字）活動への支援と加盟校の拡大に努める
- ④各地区・分区で奉仕団員を対象とした基礎研修を実施する
- ⑤新規奉仕団員の獲得及び赤十字会員の増強に努める

#### ウ 奉仕団の各種会議、研修会、訓練

令和6年度については、主要会議、奉仕団研修会および訓練での炊き出し等を実施した。また、全国的な会議・研修会に参加した。

令和6年度の主な会議、研修会の開催状況は以下のとおり。

#### （ア）会議関係

開催日	名称（開催場所）	内容
5月30日（木）～ 5月31日（金）	赤十字奉仕団中央委員会 (東京本社)	本社が主催、全国の奉仕団活動状況の情報共有となる会で、赤十字奉仕団高知県支部委員会委員長が出席。
12月5日（木）	赤十字奉仕団高知県支部委員会及び 高知県赤十字奉仕団活動推進協議会 合同役員会（高知県支部多目的室）	当該年度の活動の総括及び 次年度活動方針（案）

(イ) 行事・研修会関係

開催日	名称 (開催場所)	内容
4月13日（土）	赤十字運動月間啓発パレード (県庁正庁ホール、 帶屋町アーケード)	5月の赤十字運動月間に向けパレード実施 土佐女子中学・高校の吹奏楽部の先導により、JRCメンバー、教員、高知県青少年赤十字指導者協議会、賛助奉仕団、地域奉仕団、青年奉仕団など赤十字関係者約230名が帶屋町アーケードをパレード。
5月15日（水）	全国赤十字大会 (明治神宮会館)	参会者：日赤職員含め14名
5月26日（日）	高知県総合防災訓練 防災フェスティバル (ポリテクカレッジ高知)	防災フェスティバル内のブースにて、安全赤十字奉仕団による救急法の体験コーナーと地域奉仕団によるハイゼックスと大釜を使った炊き出しを実施。出来上がったおにぎりは、密封の状態で来場者へ配布した。 参加者：南国市、香南市、香美市、大豊町の地域奉仕団30名及び事務担当者1名、 安全赤十字奉仕団4名
8月24日（土） ～ 8月26日（月）	赤十字ボランティア・リーダー研修会 (東京本社)	東京本社で開催。基礎研修会受講済みの奉仕団を対象としたリーダー研修会。 参加者：1名が参加。
10月17日（木） ～ 10月18日（金）	中国・四国ブロック 赤十字奉仕団研修会 (あわぎんホール、 鳴門市ドイツ館)	徳島県支部主催で開催。奉仕団を対象とした基礎研修会に地域奉2名が参加。
1月25日（土） ～ 1月27日（月）	赤十字奉仕団指導講師研修会 (東京本社)	東京本社で開催。赤十字ボランティア・リーダー研修会受講済の奉仕団を対象とした研修会。 参加者：1名が参加。



5月15日（水）  
全国赤十字大会（東京明治神宮会館）

5月26日（日）  
高知県総合防災訓練（ポリテクカレッジ高知）

#### (ウ) 令和6年度 高知県赤十字奉仕団ブロック別研修会

9月から11月にかけて、奉仕団員等に赤十字について理解を深めてもらうための基礎研修を実施し、下記のとおり奉仕団員等267名が参加した。

##### ○高知市

ブロック名	開催場所	開催日時	参加者数
高知市ブロック	総合あんしんセンター大会議室	9月23日(月)	78名

##### 研修内容

- ・赤十字この1年(令和5年度版 DVD 視聴)
- ・赤十字原則の理解
- ・グループワーク「あなたにとって重要な原則は?」

##### ○高知市以外の5ブロック

ブロック名	開催場所	開催日時	参加者数
中央東ブロック	香南市夜須マリンホール	10月11日(金)	67名
高幡ブロック	須崎市総合保健福祉センター	10月22日(水)	16名
幡多ブロック	宿毛市役所3階会議室	11月6日(水)	25名
中央西ブロック	すこやかセンター伊野	11月11日(月)	47名
安芸ブロック	奈半利保健センター	11月15日(金)	34名

##### 研修内容

- ・赤十字について(組織や活動等について)
- ・災害時の奉仕団の役割と能登半島地震等での活動事例
- ・赤十字この1年(令和5年度版 DVD 視聴)

#### (エ) 各地域での奉仕団活動

災害時にも使えるロープの使い方や炊き出しなど、支部と共同で地域の防災・減災力を高める活動を行った。

また、各地域のイベントにおいて、各地区分区事務局には、赤十字紹介パネルの掲示や募金箱設置にもご協力いただいた。

#### (オ) 特殊奉仕団との連携

香美市及び須崎市で高知県立盲学校の赤十字治療奉仕団4名が治療奉仕を行う際、地元の地域奉仕団が会場設定や受付を行い、香美市では28名、須崎市では21名の地域住民の方々にマッサージによる治療奉仕を実施した。



香美市(7月11日)



須崎市(10月31日)

## (2) 特殊奉仕団

自分の持っている特技や資格を活かして、苦しんでいる人に手を差し伸べたいという気持ちを持った人たちで組織された奉仕団であり、救急法等の講習指導を行う「安全赤十字奉仕団」、青少年赤十字活動を支援する「青少年赤十字賛助奉仕団」、防災・減災の知識や技術を普及し災害救護活動を支援する「赤十字防災奉仕団」など11団が活動している。

2月28日（金）に「赤十字特殊奉仕団高知県支部連絡協議会総会」を開催し、5団7名の出席があり、活動内容や互いの課題に対する意見交換を行った。また、他の奉仕団との連携のため、オブザーバーとして赤十字奉仕団高知県支部委員会、高知県赤十字奉仕団活動推進協議会から出席いただいた。

## (3) 青年奉仕団

社会人を中心としたメンバー9名と、高知大学学生赤十字奉仕団（以下「学奉」という。）のメンバー3名で、支部主催行事への参加・運営協力などの活動を行っている。

また、メンバー募集や活動情報発信の手段として、Twitterを活用している。

（右写真）



日 時	活動名	内容
4月13日（土）	赤十字運動月間啓発パレード	本県赤十字の活動をPRするために行った帶屋町でのパレード、中央公園での街頭募金活動に青年奉仕団員2名が参加した。
6月 2日（日） 7月 7日（日）	防災ごはん散歩 防災ごはん試食会	災害時に活用できる知識を身につけるため、青年奉仕団メンバーで企画。6名が参加し、高知市の中心商店街の様々な店舗で災害時に使えそうな食品を探して購入。後日、実際に購入したものを使用し、災害時にも実践できる調理を試した。
6月 8日（土） 6月 9日（日）	第5ブロック 青年赤十字奉仕団連絡協議会	第5ブロックの青年奉仕団相互の情報交換及び連絡協議を通じて、各県奉仕団の発展に寄与するとともに団員の資質向上を図ることを目的として徳島県で開催され、青年奉仕団から1名が参加した。

9月 7日 (土) 9月 8日 (日)	第5ブロック 青年赤十字奉仕団 研修会	今後の活動に活かせる知識と技術を習得し、団員の資質の向上を図ることを目的として開催されている。愛媛県で開催され、赤十字やボランティアへの理解を深め、今後の活動計画の作成等を行い、相互の親睦を図った。学奉から1名が参加した。
12月 1日 (日)	青少年赤十字 研究大会 NHK 海外たすけあい 街頭募金	学奉2名が高知県青少年赤十字事業である「研究大会」で司会・進行を行うとともに、「NHK 海外たすけあい街頭募金」をJRC メンバーや地域奉仕団と一緒に行った。
1月 18日 (土)	青年赤十字奉仕団 全国協議会	青年赤十字奉仕団の全国的な活動等に必要な事項を協議し、かつ、連絡調整を図り、青年赤十字奉仕団の発展に寄与する事を目的として開催。 学奉2名が参加。
3月 8日 (土)	高知県警察 防災イベント	学奉1名が参加し、こども救護服体験ブースを担当。イベントステージでの一次救命処置デモンストレーションにも参加。

## 6 赤十字思想の普及・広報活動

県民の皆さんに赤十字活動への理解を深めてもらうため、広報紙の発行やホームページ、SNSによる広報活動をはじめ、県内各地で開催される赤十字講習会等を通じて、「県民の目に見える活動」の推進に取り組んだ。

### (1) 赤十字月間、イベント

5月の赤十字月間に合わせて4月13日（土）に赤十字運動月間啓発パレードを実施。

また、例年どおり各市町村でのポスター掲示や支部広報誌「ふれあい」、チラシの各戸配布、本社提供のテレビ・ラジオCMを放送するとともに、高知城下のお堀沿いに啓発用の登旗を5月末まで設置し、赤十字を広くPRした。



8月には赤十字活動についてテレビ放送し、活動資金への協力を呼び掛けた。

また、9月には6年ぶりに赤十字防災・減災イベントをイオンモールで開催した。約400人の来場があり、応急手当や救急法を学ぶブースや、地震の揺れや避難生活を体験できるブース、また、高知市赤十字奉仕団にも参加してもらい、赤十字活動のPRを行った。

### (2) DM（ダイレクトメール）、広報誌等

DMは本年度3回、約10,000通（前年約8,800通）の発送を行った。

1回目は、従来の協力者に引き続きの協力を依頼するため、5月の赤十字運動月間を中心に各地区・分区の協力を得ながら約4,500通を発送した。

2回目は、新規協力者の獲得を目的に、過去に義援金や海外たすけあいなど赤十字を通じた寄付の経験者を主な対象として10月に約3,500通を発送した。

3回目は、新規協力者の獲得を目的に、本社から提供された法人データを主な対象として1月に約2,000通を発送。

支部広報紙「ふれあい」は4月32,000部（前年30,000部）、10月19,000部（前年18,550部）を作成し地区・分区を通じて地域住民に配布したほか、会員、奉仕団、講習会の参加者、献血協力者、管内施設利用者などに配布した。

### (3) インターネットメディアやマスメディアの活用

赤十字の活動を広く知ってもらうため、ホームページだけでなく、本年度からは新たに公式SNS（X、インスタグラム）を開設し、活動の様子を掲載するようにした。また、マスメディアにもその都度プレスリリースを流し、テレビや新聞等を通じて、広く県民に赤十字を知ってもらうように努めた。

#### ○ ホームページ等への掲載状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ホームページ	10回	20回	27回
X	—	—	13回
インスタグラム	—	—	13回

## 7 会員、活動資金

### (1) 会員概要

- 令和 6 年度赤十字会員数

	個 人	法 人	合 計
令和 2 年度	1, 385	692	2, 077
令和 3 年度	1, 122	602	1, 724
令和 4 年度	1, 179	1, 478	2, 657
令和 5 年度	1, 698	1, 159	2, 857
令和 6 年度	1, 621	1, 005	2, 626

※令和 3 年度以前は地区分区からの報告数。4 年度から会員システムによる会員数。

### (2) 活動資金募集状況

6 年度の活動資金は、100 万円以上の高額寄付が合計で 27, 178 千円あったことなどから、実績額は 112, 419 千円となり、目標額の 1 億円に対する達成率は 112. 4% となった。

また、前年度 (87, 287 千円) との比較では、128. 7% と大幅に増加した。

なお、1 億円を超えるのは、平成 26 年度 (110, 192 千円) 以来 10 年ぶりとなった。

- 令和 6 年度の活動資金実績

	一 般	法 人	合 計
目 標 額	73, 702, 000 円	26, 298, 000 円	100, 000, 000 円
実 繢 額	83, 347, 655 円	29, 071, 909 円	112, 419, 564 円
目標額達成率	113. 1%	110. 6%	112. 4%

(※ 地区分別の実績は 36 頁参照)

(※ 指定、高額寄付を含む)

<参考>過去 5 年間の活動資金実績

	一 般	法 人	合 計
令和元年度	71, 042, 088 円	28, 736, 250 円	99, 778, 338 円
令和 2 年度	74, 339, 902 円	17, 284, 794 円	91, 624, 696 円
令和 3 年度	68, 798, 749 円	17, 967, 886 円	86, 766, 635 円
令和 4 年度	73, 251, 810 円	19, 596, 330 円	92, 848, 140 円
令和 5 年度	67, 792, 878 円	19, 494, 477 円	87, 287, 355 円

(※ 指定、高額寄付を含む)

### (3) 活動資金目標額設定会議

全 16 地区で開催され、地区分区別の活動資金目標額を設定していただいだ。

地区の目標額設定会議には支部職員も出席し、目標額の設定だけでなく募集協力者に対し赤十字活動の報告及び活動資金への協力依頼を行った。

#### (4) 日本赤十字社有功章等伝達式及び支部長表彰式

10月17日、高知赤十字病院にて、活動資金の募集や献血等の協力に対する功労を称えるため、日本赤十字社有功章等の伝達式及び支部長表彰式が執り行われた。

##### ア 令和6年度 日本赤十字社有功章等受章者

###### (ア) 活動資金功労部門

表彰区分	表彰基準	表彰品等	表彰者数
社長感謝状	金色有功章受章後さらに50万円以上に達した都度個人・法人	社長感謝状（賞状）	個人1人 法人7社
金色有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で50万円以上に達した個人・法人	個人:金色有功章（賞状）・章記 法人:金色有功章（楯式）	個人1名 法人8社
銀色有功章	活動資金および寄付金品が一時又は累計で20万円以上に達した個人・法人	銀色有功章（楯式）	個人5名 法人17社
支部長感謝状	活動資金が一時又は累計で10万円以上に達した個人・法人	支部長感謝状（賞状）	個人15名 法人21社
合計			個人22名 法人53社

###### (イ) 献血功労部門

表彰区分	表彰基準	表彰品等	表彰者数
金色有功章	献血回数100回以上	金色ガラス盃	個人43名
銀色有功章	献血回数70回以上	銀色ガラス盃	個人57名

##### イ 令和6年度 支部長表彰受章者

###### (ア) 活動資金募集奉仕勤続10年以上の個人（表彰状贈呈）

高知市地区17名、室戸市地区3名、南国市地区3名、土佐清水市地区1名、奈半利町分区1名 以上25名

###### (イ) 活動資金目標達成率120%以上の地区分区（表彰状贈呈）

(地区) 対象なし

(分区) 高知市（北街、布師田）室戸市（吉良川）安芸市（穴内、井ノ口、土居、江川、内原野、伊尾木、下山、畠山）香南市（夜須町）南国市（上倉北部、上倉南部、岡豊、長岡東部、岩村、稻生、三和）安芸（北川村、馬路村）中央東（大川村）以上22分区

(ウ) 活動資金目標達成率 100%以上の地区分区 (感謝状贈呈)

(地区) 安芸市地区 香南市地区 安芸地区 中央東地区 以上4地区  
(分区) 高知市 (江ノ口、五台山、御畠瀬、土佐山) 安芸市 (黒鳥、川北) 香南市 (香我美町) 南国市 (瓶岩、野田、日章、前浜、後免) 土佐市 (高石) 須崎市 (浦ノ内、吾桑、上分、新庄・安和) 宿毛市 (橋上) 土佐清水 (下川口) 安芸 (奈半利町、田野町、芸西村) 中央東 (大豊町、本山町) 中央西 (仁淀川町) 高幡 (津野町) 幡多 (三原村) 以上27分区



【有功章等受章者】



【謝辞を述べる受章者代表】



【支部長表彰受章者】

(5) 物品の寄贈

10月22日、公益財団法人  
三一会様より災害救援車両  
(通信指令車) 1台をご寄贈  
いただき、日本赤十字社社長  
からの感謝状を贈呈した。



車両贈呈式

## 8 評議員会、有功会等

### (1) 評議員会

- ・6月7日、総合あんしんセンター3階大会議室において、6年度第1回が開催され、令和5年度の事業報告及び歳入歳出決算について承認された。
- ・2月7日、高知赤十字病院4階ホールにて、6年度第2回が開催され、令和7年度の事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について承認された。

### (2) アドバイザー会議

- ・第1回は、5月31日、高知県支部多目的室にて、令和5年度の事業報告及び収支決算を基に、支部を取り巻く環境の変化によりよく対応するため、取り組むべき方向性や課題について検討がなされた。
- ・第2回は、1月28日、高知県支部多目的室にて、令和6年度の事業報告及び収支決算見込み及び令和7年度の事業計画、収支予算を基に今後の対応や取り組みの検討がなされた。

### (3) 高知県赤十字有功会

#### ア 総会

- ・6月27日、城西館で行い、有功会員25名が出席し、全議案について承認された。
  - ① 令和5年度高知県赤十字有功会事業報告及び収支決算書について
  - ② 令和6年度高知県赤十字有功会事業計画（案）及び同収支予算（案）
  - ③ 特別講演：「能登半島地震における日本赤十字社の活動」  
(講師：高知赤十字病院 救急部副部長 原 真也 氏)

#### イ 全国赤十字紺綏有功会長総会

- ・11月6日、岩手県盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで行われ、高知県赤十字有功会長の西山彰一様にご出席していただいた。

#### ウ 理事会

- ・第1回は、3月11日、総合あんしんセンター3階 中会議室で開催し、下記のことについて承認及び協議がなされた。
  - ① 令和6年度事業経過報告及び収支決算（見込み）について
  - ② 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
  - ③ 有功会会費の見直しについて
  - ④ 高知県赤十字有功会会長表彰基準の改正について

## エ 研修旅行

- ・10月21日に馬路村への研修旅行を行い、有功会員18名、会員以外7名が出席し親睦を深めた。



## オ 支援事業 赤十字各施設に対して、下記の助成を行っていただいた。

施設	助成内容
高知県支部事務局	1 青少年赤十字事業に対して30万円を助成
高知赤十字病院	2 ハートラちゃんA7リングメモ帳330冊（約10万円）を寄贈
高知県赤十字血液センター	3 啓発用卓上カレンダーの製作費用として10万円を助成



1 【青少年赤十字事業】



2 【A7 リングメモ帳】



3 【卓上カレンダー】

## 9 旧社屋及びプレハブの解体

老朽化が進んでいた旧社屋及びプレハブについて、令和6年3月、解体工事に着手し、同年9月に解体工事が完了した。跡地について有効活用を図るため、一部を時間貸駐車場として有償貸付けを行うこととし、同年11月に一般競争入札により貸付業者を選定した。

令和7年1月10日から時間貸駐車場（コインパーキング）としての運用が始まった。



解体前



解体後

## 10 決算概要

### 令和6年度 一般会計歳入歳出決算概算書

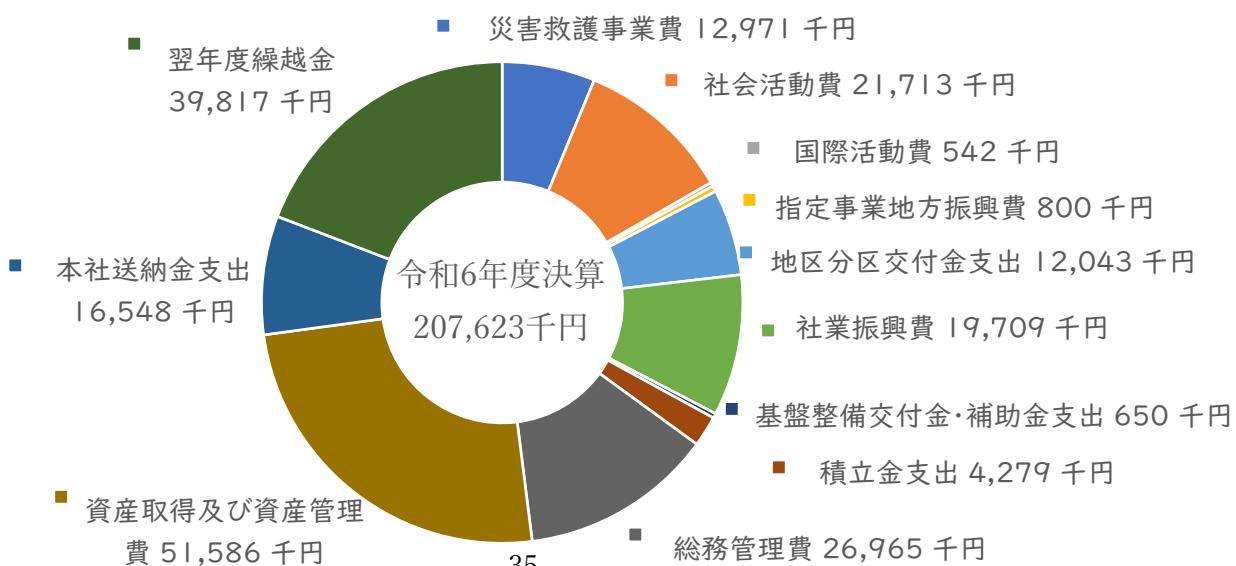
(単位：千円)

歳入

科目	令和6年度 決算額	令和5年度 決算額	対前年増減
活動資金収入	112,419	87,395	25,024
委託金等収入	2,750	244	2,506
補助金及び交付金収入	16,412	55,781	△39,369
繰入金収入	16,542	526	16,016
資産収入	2,811	0	2,811
雑収入	6,431	5,699	732
前年度繰越金	50,258	30,546	19,712
歳入計	207,623	180,191	27,432

歳出

災害救護事業費	12,971	12,554	417
社会活動費	21,713	20,551	1,162
国際活動費	542	653	△111
指定事業地方振興費	800	808	△8
地区分区交付金支出	12,043	12,448	△405
社業振興費	19,709	18,919	790
基盤整備交付金・補助金支出	650	850	△200
積立金支出	4,279	20,330	△16,051
総務管理費	26,965	25,488	1,477
資産取得及び資産管理費	51,586	4,539	47,047
本社送納金支出	16,548	12,793	3,755
歳出計	167,806	129,933	37,873
歳入歳出差引 (翌年度繰越額)	39,817	50,258	△10,441



## 【令和6年度 地区分別活動資金実績】

項目 地区区分名	目標額			令和6年度実績額				前年度比				令和5年度 決算額	
	一般	法人	合計	一般	法人	合計	目標額達成率	一般	法人	合計	合計	合計	
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)		
1 高知市	19,512,000	6,612,000	26,124,000	17,286,555	6,591,498	23,878,053	91.4%	△ 429,459	97.6%	△ 540,323	92.4%	△ 969,782	96.1%
2 室戸市	1,304,000	200,000	1,504,000	1,393,650	89,000	1,482,650	98.6%	266,950	123.7%	△ 197,000	31.1%	69,950	105.0%
3 安芸市	2,821,000	300,000	3,121,000	2,407,177	465,500	2,872,677	92.0%	△ 63,033	97.4%	△ 24,000	95.1%	△ 87,033	97.1%
4 香南市	3,985,000	424,000	4,409,000	3,539,200	396,500	3,935,700	89.3%	△ 134,692	96.3%	△ 12,000	97.1%	△ 146,692	96.4%
5 香美市	2,324,000	326,000	2,650,000	1,938,574	288,000	2,226,574	84.0%	△ 120,378	94.2%	△ 13,500	95.5%	△ 133,878	94.3%
6 南国市	5,428,000	949,000	6,377,000	5,035,375	906,000	5,941,375	93.2%	89,014	101.8%	△ 66,000	93.2%	23,014	100.4%
7 土佐市	2,691,000	461,000	3,152,000	2,417,556	85,000	2,502,556	79.4%	△ 111,765	95.6%	△ 5,000	94.4%	△ 116,765	95.5%
8 須崎市	2,424,000	416,000	2,840,000	2,030,600	260,000	2,290,600	80.7%	△ 133,400	93.8%	△ 190,000	57.8%	△ 323,400	87.6%
9 四万十市	2,849,000	734,000	3,583,000	2,516,285	421,297	2,937,582	82.0%	△ 122,209	95.4%	76,297	122.1%	△ 45,912	98.5%
10 宿毛市	2,152,000	395,000	2,547,000	2,033,971	195,000	2,228,971	87.5%	△ 8,306	99.6%	△ 15,000	92.9%	△ 23,306	99.0%
11 土佐清水市	1,495,000	179,000	1,674,000	1,405,187	130,000	1,535,187	91.7%	△ 25,480	98.2%	10,000	108.3%	△ 15,480	99.0%
12 安芸(合計)	2,321,000	258,000	2,579,000	2,106,371	538,000	2,644,371	102.5%	△ 127,319	94.3%	△ 24,000	95.7%	△ 151,319	94.6%
13 東洋町	233,000	37,000	270,000	203,600	0	203,600	75.4%	1,100	100.5%	0	-	1,100	100.5%
14 奈半利町	346,000	53,000	399,000	335,100	179,000	514,100	128.8%	△ 28,400	92.2%	3,000	101.7%	△ 25,400	95.3%
15 田野町	401,000	48,000	449,000	364,300	91,000	455,300	101.4%	△ 16,000	95.8%	△ 21,000	81.3%	△ 37,000	92.5%
16 安田町	364,000	38,000	402,000	300,900	100,000	400,900	99.7%	△ 20,000	93.8%	10,000	111.1%	△ 10,000	97.6%
17 北川村	223,000	9,000	232,000	199,140	93,000	292,140	125.9%	△ 6,950	96.6%	△ 21,000	81.6%	△ 27,950	91.3%
18 馬路村	194,000	17,000	211,000	178,500	65,000	243,500	115.4%	△ 7,500	96.0%	5,000	108.3%	△ 2,500	99.0%
19 芸西村	560,000	56,000	616,000	524,831	10,000	534,831	86.8%	△ 49,569	91.4%	0	100.0%	△ 49,569	91.5%
20 中央東(合計)	1,827,000	230,000	2,057,000	1,679,058	422,000	2,101,058	102.1%	△ 16,408	99.0%	△ 12,000	97.2%	△ 28,408	98.7%
21 大豊町	701,000	73,000	774,000	722,705	97,000	819,705	105.9%	△ 14,195	98.1%	0	100.0%	△ 14,195	98.3%
22 本山町	521,000	71,000	592,000	505,353	118,000	623,353	105.3%	△ 12,933	97.5%	△ 1,000	99.2%	△ 13,933	97.8%
23 土佐町	528,000	82,000	610,000	391,700	182,000	573,700	94.0%	8,870	102.3%	△ 6,000	96.8%	2,870	100.5%
24 大川村	77,000	4,000	81,000	59,300	25,000	84,300	104.1%	1,850	103.2%	△ 5,000	83.3%	△ 3,150	96.4%
25 中央西(合計)	5,820,000	739,000	6,559,000	5,354,923	273,000	5,627,923	85.8%	△ 124,307	97.7%	48,000	121.3%	△ 76,307	98.7%
26 いの町	2,094,000	335,000	2,429,000	2,025,790	83,000	2,108,790	86.8%	124,648	106.6%	53,000	276.7%	177,648	109.2%
27 仁淀川町	946,000	89,000	1,035,000	763,512	190,000	953,512	92.1%	△ 25,788	96.7%	△ 5,000	97.4%	△ 30,788	96.9%
28 佐川町	1,391,000	144,000	1,535,000	1,321,037	0	1,321,037	86.1%	△ 86,553	93.9%	0	-	△ 86,553	93.9%
29 越知町	795,000	77,000	872,000	729,484	0	729,484	83.7%	△ 18,116	97.6%	0	-	△ 18,116	97.6%
30 日高村	594,000	94,000	688,000	515,100	0	515,100	74.9%	△ 118,498	81.3%	0	-	△ 118,498	81.3%
31 高幡(合計)	4,090,000	514,000	4,604,000	3,858,700	35,000	3,893,700	84.6%	△ 270,801	93.4%	△ 25,000	58.3%	△ 295,801	92.9%
32 中土佐町	899,800	92,520	992,320	763,700	0	763,700	77.0%	△ 47,801	94.1%	0	-	△ 47,801	94.1%
33 四万十町	2,085,900	292,980	2,378,880	1,791,100	0	1,791,100	75.3%	△ 150,900	92.2%	△ 10,000	0.0%	△ 160,900	91.8%
34 植原町	449,900	61,680	511,580	421,900	0	421,900	82.5%	△ 64,100	86.8%	△ 20,000	0.0%	△ 84,100	83.4%
35 津野町	654,400	66,820	721,220	882,000	35,000	917,000	127.1%	△ 8,000	99.1%	5,000	116.7%	△ 3,000	99.7%
36 豊多(合計)	1,681,000	145,000	1,826,000	1,409,925	171,000	1,580,925	86.6%	△ 74,305	95.0%	0	100.0%	△ 74,305	95.5%
37 黒潮町	762,000	58,000	820,000	550,805	161,000	711,805	86.8%	△ 59,195	90.3%	20,000	114.2%	△ 39,195	94.8%
38 大月町	686,000	71,000	757,000	622,400	0	622,400	82.2%	△ 19,200	97.0%	0	-	△ 19,200	97.0%
39 三原村	233,000	16,000	249,000	236,720	10,000	246,720	99.1%	4,090	101.8%	△ 20,000	33.3%	△ 15,910	93.9%
40 【地区合計】	62,724,000	12,882,000	75,606,000	56,413,107	11,266,795	67,679,902	89.5%	△ 1,405,898	97.6%	△ 989,526	91.9%	△ 2,395,424	96.6%
41 支部	10,978,000	13,416,000	24,394,000	26,934,548	17,805,114	44,739,662	183.4%	16,960,675	270.1%	10,566,958	246.0%	27,527,633	259.9%
42 【総合計】	73,702,000	26,298,000	100,000,000	83,347,655	29,071,909	112,419,564	112.4%	15,554,777	122.9%	9,577,432	149.1%	25,132,209	128.8%